



Yokohama National University, Center for Risk Management and Safety Sciences

横浜国立大学 安心・安全の科学研究教育センター 公開セミナー

機械・構造物のヘルスマonitoring最前線

(講演概要)

笹子トンネルの天井崩落事故等、機械・構造物の高経年化に伴う事故が発生して大きな社会問題になっています。本セミナーにおいては、機械・構造物に埋め込まれたセンサーによる計測技術、またセンサーから発信される情報を集めて分析する、通信・情報技術等について、建設機械、橋梁、建築構造物の3つの代表的事例を挙げて、各講師からお話を伺い、機械・構造物のヘルスマonitoringの現状と将来展望について議論を行います。

なお、このセミナーは、本学の関係教職員および副専攻プログラム「安心安全マネジメント」履修学生並びに学内外の社会人を対象にしています。ご関心のある皆様の積極的なご参加をお願いします。

主 催；横浜国立大学 安心・安全の科学研究教育センター

協 賛（予定）；安全工学会、高圧ガス保安協会、日本高圧力技術協会、横浜国立大学リフレッシュ教育コース、NPO YUVEC

日 時；平成25年9月25日（水）13:30～17:00

場 所；横浜国立大学 理工学部講義棟 C 201

参加費； 無料

参加者募集； （60名）

プログラム；

司会 横浜国立大学 安心・安全の科学研究教育センター准教授

笠井 尚 哉

13:30 「挨拶」

横浜国立大学 環境情報研究院 教授
安心・安全の科学研究教育センター長

藤 江 幸 一

13:40 「社会インフラのLife Cycle Cost 低減に向けたヘルスマonitoring」

横浜国立大学 安心・安全の科学研究教育センター 客員教授

栗 山 幸 久

14:30 「ICTでインテリジェント化する建設・鉱山機械」

株式会社メビウス
横浜国立大学 生産工学科同窓会会長

永 井 孝 雄

15:20 休憩

15:30 「建物のヘルスマonitoring（仮）」

一般財団法人 構造物センシング機構 理事長
東京大学名誉教授

板 生 清

16:20 総合討論

申込方法；①氏名、②所属、③電話番号、④E-mail を記載の上、「公開セミナー第3回参加申込」と題記して、下記に E-mail でお申し込み下さい。

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

横浜国立大学安心・安全の科学研究教育センター FAX：045-339-4294、E-mail：anshin@ynu.ac.jp

Center for Risk Management and Safety Sciences